



ホットニュース Hot News

◎図書館でいきいき元気に♪

中央図書館では、毎月第4金曜日、シニアの方たちを中心に気軽に集まり、楽しいひと時を共に過ごすサロンを開催しています。その名も「図書館でいきいき！元気タイム」。音読をしたり、昔懐かしいものを見たり、触れたり、頭の体操にもなるクイズや、ちょっとしたゲームで体を動かしたり、和気あいあいと楽しく過ごしています。



▲元気タイムの様子

参加者からは、「ゲームで体を動かし、大声で笑うのでとても楽しかった」「一人で参加して不安でしたが、友達もでき、毎月楽しみにしています」と好評です。どの回からでも参加可能で、予約は不要です。皆さんの参加をお待ちしております。

【中央図書館 臨時休館のお知らせ】

令和6年2月1日(木)～2月23日(金・祝)まで空調設備などの更新のため休館となります。ご迷惑をお掛けいたします。※詳しくは図書館HPをご覧ください。



青パイアのレシピ

+Pプロジェクト/著 池田書店

思わず「へえ！～そんな食べ方があったのね！」マンネリ脱出！新しい調理法が発見できるかも。



文豪どうかしてる逸話集

進士素丸/著 KADOKAWA

素晴らしい作品を生む人間が必ずしも素晴らしい人間とは限らない？思わず笑ってしまう、エピソードが沢山。

History Inquiry Club 眞の236 歴史探訪クラブ

文化財課(博物館) ☎22-1720
吉胡貝塚資料館 ☎22-8060
渥美郷土資料館 ☎33-1127



東郷平八郎^{きごう}揮毫^{きごう}(※)の石碑

市内には石碑がいくつもありますが、今回は東郷平八郎の石碑を紹介します。

東郷平八郎(1848～1934)は薩摩藩士の子として鹿児島県に生まれました。最も有名な功績としては、1905(明治38)年、日露戦争における日本海海戦での勝利でしょう。連合艦隊司令長官として日本艦隊を指揮し、世界屈指の戦力を誇っていたロシアのバルチック艦隊を破り、東郷は国民的英雄となりました。

今回は、市内にある東郷平八郎揮毫の石碑を2カ所紹介します。

1つ目は池ノ原公園内にある石碑です。華山会設立準備事業のひとつとして、日本海海戦の4年後、1909(明治42)年に建てられました。「華山先生玉碎之跡 伯爵 東郷平八郎書」と刻まれており、初代の華山銅像よりも古くに建てられ、池ノ原公園にある文化財のなかでは最も古いものです。

2つ目は巴江神社にあります。石碑の裏の銘文か

ら、水藤茂三氏による寄付によって、1933(昭和8)年8月に建てられたことがわかります。1913(大正2)年に東郷は元帥の称号が与えられたため、石碑には「元帥伯爵東郷平八郎書」と刻まれています。

これらが建てられた理由として、東郷が国民から英雄視されたことが挙げられます。また、東郷自身が書道家の一面もあり、日本各地の神社などに揮毫を行っていました。

石碑は記念碑として建てられることが多く、よく観察すると、刻まれた文字は有名な人物による揮毫かもしれませぬ。

※揮毫:毫は筆のこと。文字や絵を筆でかくこと。

(学芸員 三宅良宜)



▲巴江神社の石碑